

ふくろうの会通信

東野幌小学校PTA

NO 6

H30.9.20

文責 ふくろうの会

会長 長谷川 伸

校長 高橋 秀明

災害時の対応について！

9月に入って、大型台風と大規模な地震が立て続けに発生しました。学校においても東日本震災以降、迅速で的確な対応ができるように避難訓練に力を入れてきましたが、これらの台風や地震は私たちの想定を遙かに超える災害となりました。

地震に先立って接近した台風21号は、北海道への上陸をまのがれたものの、過去最大級の強風を北海道にもたらし、校庭の庭木や市内至るところの街路樹をなぎ倒し、甚大な被害をもたらしました。東野幌小学校では、幸いにして倒れた倒木による直接の被害は出ませんでした。他の学校では、倒木により建物の一部を破損や窓ガラスを割る等の被害をもたらしました。



台風で倒されたグランド築山付近の倒木の様子

そして、翌日発生した胆振東部地震に関しては、観測史上北海道では記録したことのない震度7を記録する大型地震となり、苫東厚真発電所の故障を引き起こし、ブラックアウトによる全道的な停電を発生させました。

2つの連続して起こった災害に共通していたのが発生した時間帯。台風に関しては最接近したのが夜の遅い時間帯から未明にかけての時間帯であったこと、地震に関しては真夜中の3時に発生したため、学校には児童生徒がいなく、人的な被害を出すこともありませんでした。しかし、もし発生した時間帯が、授業中であったらばどうなっていたでしょう。

今回地震が発生し、全道的な停電が起こるまで、約30分程度の時間しかありませんでした。この間、学校では校舎の安全点検にあたりましたが、点検の途中で停電となり、連絡の取りづらい状況に陥ってしまいました。これを授業中に置き換えていくと、「地震が発生 → 安全の確保を指示 → 落ち着いた後に、→ 子どもたちを安全な場所に誘導 → 全員の無事を確認 → その後、状況に応じて各家庭に連絡を取る中で、各家庭に引き渡し」となっていくますが、避難訓練の過去の時間を勘案していくと、子どもたちを安全場所に誘導するところまでの段階で、停電にあってしまうこととなります。

今回の臨時休校時の対応で、各家庭に連絡を回そうとした時には停電の影響を受け、一斉メールの送信ができなかったり、電話回線が機能しなかったりと、連絡が取りにくい状況に陥り、各家庭にはご迷惑をおかけする結果となりました。まずは、難しい課題ですが、停電になっても確実に連絡を取れる環境づくりを早急に進めていかなければなりません。今回の緊急時で、連絡を取るために一番有効だったのが、携帯電話による連絡網やスマホによるライン通信（充電切れが心配ない場合）でしたが、携帯の所持率やメールアドレスの登録が100%の状況ではないため完全な連絡体制の確保には至りませんが、これらの通信網の見直しや、緊急時における対応の事前周知の徹底等を中心に強化を図っていきたいと思っています。今後もいろいろとご協力をお願いするところが出てくると思いますが、よろしくお願いいたします。

- 早退時、下校時のお迎えについては、部外者との見分けができるように、配付してあるネームプレートを必ずご着用してください。
- 次回のふくろうの日は9月28日（金）です。担当は、3年生になっていますので、CS安全担当を中心によりよろしくお願いいたします。

ブログにて、東野幌小学校の日常的な活動の様子を発信していますので、是非ご覧ください。

ブログのアドレス → <http://blog.webone.ne.jp/higasinos>